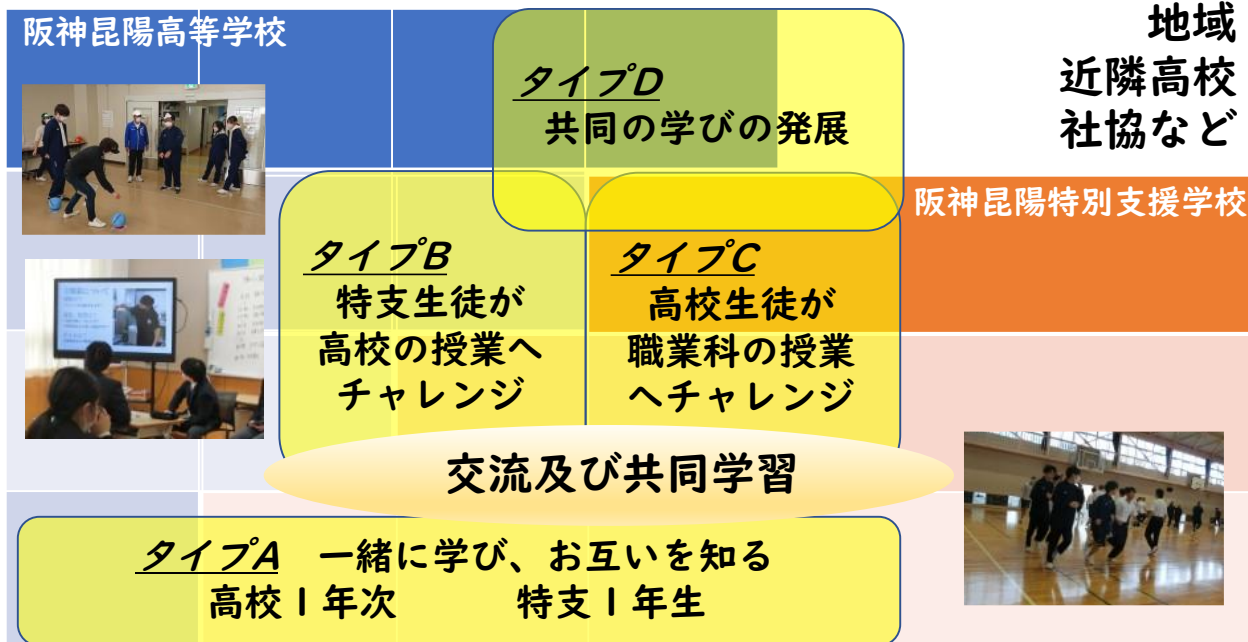


交流及び共同学習(共同の学び)

共生社会を担う人財



【交流及び共同学習とは】

社会におけるノーマライゼーションの理念を進展する礎となる学校を目指しています。ノーマライゼーションとは、「障害のある者も障害のない者も同じように社会の一員として社会活動に参加し、自立して生活することのできる社会を目指すという理念」です。

【目指すところ】

両校生徒が同じ教室や施設で共に学ぶことで、互いに助け合って生きる姿勢を身につけ社会におけるノーマライゼーションの理念を進展することを目指しています。

【4つの形態】

- (1) タイプA 高校1年次生と特支1年生全員と一緒に学ぶ。(音楽、美術、体育、情報)
- (2) タイプB 高校の授業に、特支の生徒が参加する。(国語、地歴公民、数学、理科、英語、家庭、書道など)
- (3) タイプC 特支の授業に、高校の生徒が参加する。(ビジネス総合)
- (4) タイプD 高校と特支の選択者が、近隣の高等学校等と交流する。(学校設定科目「地域社会への支援」)